

ぶくし



鎌倉市議会議員
千 せん

一 はじめ

「千一と介護・福祉・
バリアフリーを考える会」

会報 2010年 春号



千 一 (せん はじめ)
鎌倉市扇ガ谷在住。鎌倉市議会議員三選。
神奈川大学経済学科卒業。

全身強いアテトーゼ（不随意運動・凝縮）を持った出生時からの重度の脳性麻痺により、手足、言語に障害を持つ。自由に動く左足指で、文字を書き、音声キーボードをたいてコミュニケーションをとる。

「横浜市脳性麻痺者協会」副会長をつとめた。障害者の「グループホーム」の運営に携わってきた。鎌倉の介護・福祉・バリアフリー充実、前進のために只今、奮闘中！！

<連絡先>

おうぎがやつ

〒248-0011 鎌倉市扇ガ谷4-27-7

電話 0467(61)2031

FAX 0467(61)2032

E-mail senhaji@kamakuranet.ne.jp

URL http://www.senhajime.jp/

*お問い合わせ先：TEL 0467-31-6565<森木>

2009年の千一(せん はじめ)は、公約である下記のことを実現するよう心がけてきました。

1. 高齢の方も障害のある方も住みよい地域社会をつくりまします。
2. ハンディを持った方の意見が反映される社会をともにつくりまします。
3. 「心のバリアフリー」こそがよりよい社会をつくりまします。
4. 社会保障を充実したものに改善していきます。
4. 誰もが移動しやすい交通政策の実現」を目指します。
5. 安全で、のびのびと、個性的な子供を育てられる社会の確立こそ、私たちの将来をつくりまします。

そういう社会が、誰もが住みよい社会なのだと、私は、思います。

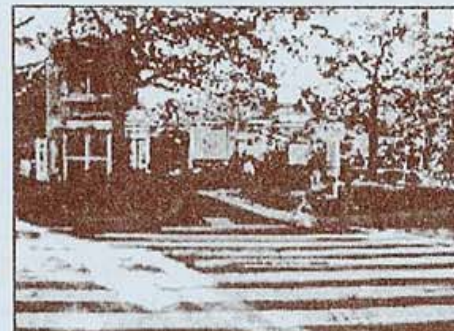
— <1> —

ひとつ、ひとつではありますが、現状の改善から取り組んでいます。

そのひとつは、昨年実現した「鎌倉市役所に行く交番前のスクランブル交差点（市役所前交差点）と鎌倉駅入り口（東口）の歩行者が渡る信号時間が長くなった」ことです。

車いすの方やご高齢者や歩きにくい方は、信号が変わる前に渡りきれないで「立

ち往生」してしまうことがありました。そこで、千一は、信号を管轄する神奈川県警察本部（神奈川県庁の隣り）まで相談に行ったりしました。



市役所前交差点（紀ノ国屋方面）

＝ 千一の市議会報告 ＝

2009年12月の本会議で質問しました。質疑応答の詳細は、ホームページをご覧ください。

— <2> —

《千の質問》

— 2009年は選挙も多く、国の体制も変わり、また鎌倉市においても市議会議員の構成も変わり、最後には新市長となり、国も市も体制が随分変わってまいりました。市長はマニフェストダイジェスト版に「必ず投票に行きましょう」と書かれていましたが、高齢者では介護度5の方、障害者では身体で1級の方、および障害の箇所にもよりますが、そのような一部の方しか郵便による投票も認められていません。それ以外にも表に出られなくて、選挙に行きたくともいけない方がたくさんおります。